お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止 **器具の改造や指定部品以外の交換はしない。**（火災・感電・落下の原因）	禁止 **器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。**（火災・感電の原因）
禁止 **器具やランプを布や紙などで覆わない。**（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）	

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止 **お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。**（火災・感電の原因）	禁止 **節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。**
禁止 **ランプに塗料などを塗らない。**（ランプが過熱・破損してけがの原因）	禁止 **ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。**（ランプが破損してけがの原因）
禁止 **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。**（過熱して火災の原因）	厳守 **明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。**

インバータ器具の取扱い

■赤外線リモコン方式のテレビ･ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。（雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。）
■受信電波が弱い場合には、ＡＭおよび短波放送では雑音が入る場合があります。
■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプ交換・器具の清掃

⚠警告 **電源スイッチを切ってから行う**（感電の原因）

ランプ交換

適合ランプ　FHF32

三菱電機オスラムランプを使用してください。

蛍光ランプは点滅回数が多いと短寿命になります

清掃

○カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。
・みがき粉やたわし　・殺虫剤
・シンナーなど揮発性のもの　・熱湯
○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。
○センサ部のレンズに付いた汚れは、レンズに傷がつかないように、やわらかい布でからぶきしてください。

⚠注意
○**点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない**（高温のためやけどの原因）
○**ランプはソケットに確実に取付ける**（取付けが不完全な場合落下の原因）
○**使用済みのランプは不用意に割らない**（ガラスが飛散してけがの原因）
○**ソケットの清掃に洗剤を使用しない**（洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因）

⚠警告
器具･ランプを水洗いしない（火災･感電の原因）

人感センサの使用上のご注意

■この器具（センサ）は、『熱線』を検知するため、人体以外の温度変化でも　検知する場合があります。
（例）・太陽光などの強い光の直射照射　・エアコンなどの気流
・検知エリア内での照明器具　・ブラインドやカーテンの動き
・人体以外の小動物の動き　・強いノイズが入った場合
■この器具（センサ）は、『温度変化』を検知するため、夏場など周囲温度が人体とあまり変わらないような場合には、検知エリアや感度が多少鈍くなる場合があります。
■この器具（センサ）は、『動き』を検知するため、静止している場合や動きが小さい場合は検知しない場合があります。
■センサのビームを遮断する障害物がある場合は、検知できません。（人の動きが小さい時や、再検知されにくい場合は、点灯保持時間の設定を状況により『6 分』『10 分』『連続』にしてご使用ください。）
■センサによる照明器具の点灯回数が極端に多いと、ランプの寿命が短くなります。状況に応じて点灯保持時間の設定を『6 分』『10 分』『連続』にしてご使用ください。
■センサで消灯した場合でも約 1W 程度の電力を消費します。長時間ご使用にならない場合は、壁スイッチ等を切った節電をお勧めします。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり､変な臭いがしたり､破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災･感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先　三菱電機株式会社　三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統轄部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

E762Z749H20

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

人感センサ付反射笠付器具　グリーン購入法適合

形名　**YHS4001**　**PX**

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止 **引火する危険のある雰囲気で使わない。**（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止 **配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
禁止 **器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守 **施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。**

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止 **高温（35℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。**（落下・感電・火災の原因）	禁止 **器具を密集して取付けない。（10cm 以上離す）**（器具の温度が高くなり火災の原因）
禁止 **さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。**（劣化による落下の原因）	禁止 **表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の 90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。**（火災･感電の原因）
禁止 **器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。**（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）	禁止 **器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）
禁止 **風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。**（火災・感電の原因）	禁止 **狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。**（器具が過熱して火災の原因）
禁止 **雨水のかかる場所で使わない。**（水気・湿気が入り感電の原因）	禁止 **調光用専用器具以外は調光させない。**（器具が過熱して火災の原因）

お願い

■周囲温度は５～35℃の範囲でご使用ください。点灯始動保証温度は－5℃以上です。周囲温度 5℃未満での連続使用は、ランプ光束の低下やランプの短寿命となります。
■天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。（すき間が発生することがあります。）
■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

照明器具の寿命について

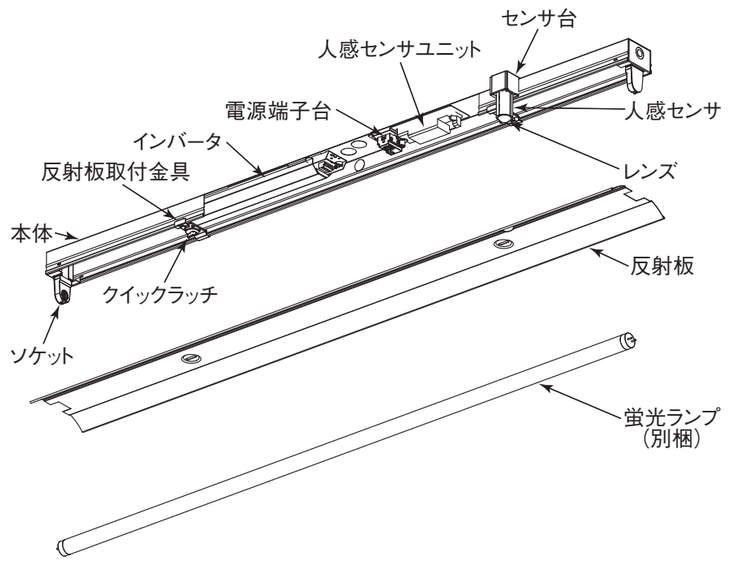
●**照明器具には寿命があります。設置して８～10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。**
※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は３年間です。ランプなどの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

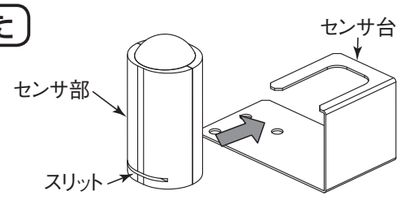
各部のなまえと取付けかた

⚠警 告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



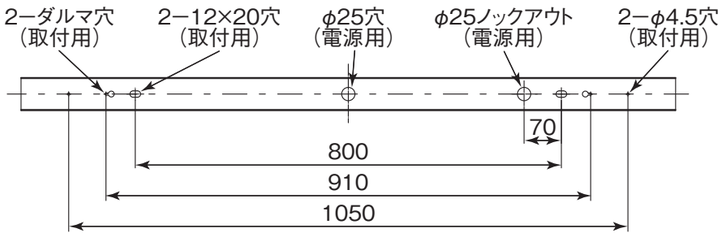
センサ部の取付けかた

○本体に収納してあるセンサ部をセンサ台に確実に取付ける。（右図）



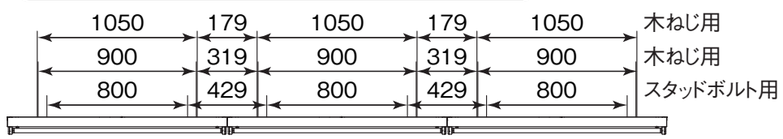
取 付 穴

（単位 mm）



人感センサ付器具の連結取付の場合

（単位 mm）



1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう取付ボルトまたは木ねじ取付部の強度を確保する。

⚠警 告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 ソケットを取付ける

○本体に内蔵のソケットをソケット台に取付ける。

3 器具本体を取付ける

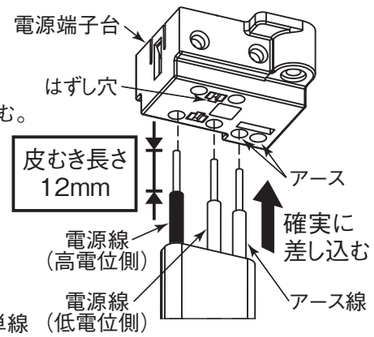
(1) 電源線、アース線を本体電源穴から引き込んでおく。(コードブッシュを使用する。)
(2) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

⚠警 告
取付けが不完全な場合落下の原因

4 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

⚠警 告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因



(2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

⚠警 告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

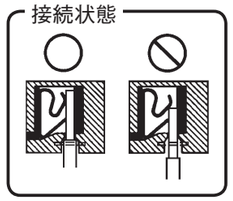
＜D種（第3種）接地工事が必要です。＞

○電源端子台の容量は 20A です
○適合電線：φ 1.6mm 単線　φ 2.0mm 単線

⚠警 告
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

⚠警 告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

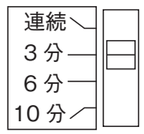
接続状態



○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

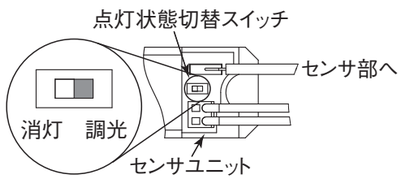
5 点灯保持時間の設定

○点灯保持時間をセンサ部のスイッチにより設定する。出荷時は、『3分』に設定しています。



6 待機時の点灯状態の設定

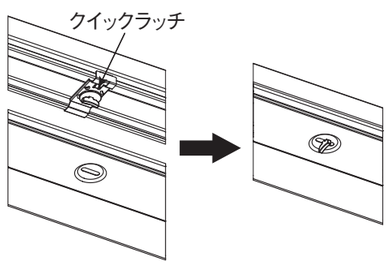
○待機時の点灯状態をセンサユニットの点灯状態切替スイッチにより設定する。
出荷時は、『調光』に設定しています。



7 反射板を取付ける

○反射板のセンサ穴をセンサ部に合わせ、反射板を確実に取り付ける。
○反射板を本体にセットし、押し上げながらクイックラッチを確実に90度回転させ、反射板を本体に固定する。（クイックラッチは工場出荷時の反射板取付金具に仮止めされています。）

⚠注 意
取付けが不完全な場合落下の原因

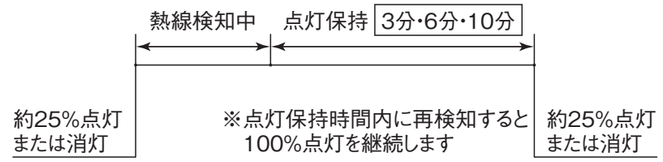


8 ランプを確実に取付ける

⚠注 意
取付けが不完全な場合落下の原因

9 人感センサの動作説明

○電源投入後、約40秒間（センサのウォームアップ時間）は、器具は100%点灯し、その後、センサによる制御を開始します。



人体などの熱線の動きを検知すると、100%点灯します。

⇩

点灯保持時間内に熱線の動きを再検知すると、100%点灯を持続します。

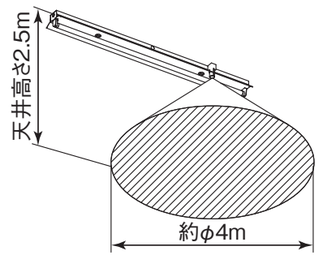
⇩

人体などの熱線の動きを検知しなくなると、設定した時間の点灯を保持し、その後約25%点灯または消灯します。

【5 点灯保持時間の設定を参照】

○点灯保持時間の変更について
2灯用器具の場合は反射板を外して、センサ部のスイッチで、点灯保持時間を設定します。
〈設定の目安〉
・『3分』…人の動きが大きく、再検知されやすい場所
・『6分』…人の動きが小さく、再検知されにくい場所
・『10分』…人の動きが極端に小さく、比較的長時間の点灯が必要な所

○連続点灯する場合について
反射板を外してセンサ部のスイッチを『連続』にするとセンサ機能は動作せず、100%で連続点灯します。



・左図に示す、センサによる検知エリアに入る人体などの“動き”を検知します。(検知する温度差:3℃以上)
・周辺部は、若干感度が鈍ります。

※・器具の取付高さが高くなると、検知感度が鈍くなることがありますので、2.8m以下で使用してください。
・周囲温度、人体温度等の条件により検知エリアは変わります。
・センサに向かって真っすぐ接近した場合、より近づかないと検知しない場合があります。

10 施工後の動作確認

○工場出荷時の点灯保持時間・待機時の点灯状態の設定は、『3分』・『調光』になっています。
(1) 電源を入れて検知エリアの外でお待ち下さい。約40秒後の100%点灯の後、約25%点灯（待機状態）に切り替ります。
(2) 検知エリアに入ってください。器具が、100%点灯します。
(3) 再度検知エリアの外に出てください。設定された点灯保持時間（多少ばらつきがあります）後、約25%点灯（待機状態）に切り替ります。
※この器具は、誤動作防止のため点灯保持時間後の待機状態に切り替り直後の数秒間は熱線探知がされません。